

岐阜県図書館協会

No. 51
令和5年3月

会報

事務局

〒500-8368

岐阜市宇佐4-2-1

岐阜県図書館内

電話(058)275-5111

岐阜県公共図書館協議会活動報告

本協議会では、県内の加盟館が連携し、図書館活動振興のための各種事業を行っている。

5月19日に公共図書館長トップセミナーを開催し、加盟館の館長及び職員26名（会場19名、オンライン7名）が参加した。テーマは次のとおり。

テーマ：「図書館の使命と機能—デジタルコンテンツと地域資料」

講師：福島幸宏氏（慶應義塾大学文学部図書館・情報学専攻准教授、東京大学大学院情報学環 客員准教授）

10月4日には職員研究集会を開催し、加盟館の館長及び職員36名（会場23名、オンライン13名）が参加した。テーマは次のとおり。

テーマ：「認知症と図書館」

講師：竹原敦氏（群馬パース大学リハビリテーション学部作業療法学科・同大学院保健科学研究科 教授）

加盟館共同事業として、3-5月に加盟館を巡るスタンプラリー「清流の国ぎふ・図書館スタンプラリー2022」を実施した。

その他共同事業として、加盟館共通テーマ資料展示を実施し、9月は「がん征圧月間」及び「世界アルツハイマー月間」に合わせて「がん予防啓発」、「認知症」に関連する図書を展示した。また、11月には「郷土の偉人」、1月には「SDGs」をテーマに関連図書を展示した。

●県内公共図書館の動向

1月は高山市出身の小説家・米澤穂信氏が直木賞

を受賞し、高山市では「米澤穂信さん直木賞受賞特集コーナー」を設置、その他各館でも特集展示をするなど、大いに盛り上がった。各務原市は昨年開館30周年を迎え、記念事業として「絵本作家・高島純 お話し会」、「小説家・中山七里 トークイベント」等を開催した。岐阜市は7月に開館7周年イベント「おはなし会」「まちライブラリー」「なぞ解きラリー」「POPづくり」を開催した。

新たな取り組みとして、飛騨市は1月から、羽島市は3月から「電子図書館」サービスを開始した。安八町は図書館ホームページをリニューアル、可児市は新聞記事データベースのサービス提供を開始した。

●岐阜県図書館について

3月に岐阜県ゆかりの作家とその作品に関する県内スポットを紹介する小冊子『ぎふ文歩』を発行した。8～9月には日本地図学会より寄贈された世界の地図249点の中から、令和元年に開催された第29回国際地図学会議東京大会での国際地図展において世界各国から出品された地図を中心に展示した。10月には生誕150年にあたる郷土作家・島崎藤村をテーマに、島崎藤村とゆかりのある方や研究者を招いてトークイベントを開催した。11月には俳優で県図書館の名誉館長である紺野美沙子氏の朗読会、また大垣市出身の絵本作家・市川里美氏による小学生を対象としたワークショップを開催した。

(岐阜県公共図書館協議会事務局)

岐阜県大学図書館協議会活動報告

令和4年度、岐阜県大学図書館協議会として次の活動を行った。

- 運営委員会（7月6日〈水〉書面表決）
- 総会（7月27日〈水〉書面表決）
- 講演会（12月13日〈火〉オンライン）

上記のいずれも、コロナ禍を踏まえ集合形式での開催を控え、電子メールまたはオンラインの形式で開催した。

総会では、会務報告の後、以下の項目について協議した。

- (1) 令和3年度決算（案）について
- (2) 令和4年度予算（案）について
- (3) 研修会（講演会）（案）について
- (4) 事業計画（案）について
- (5) 岐阜県図書館協会の解散について

また、事前に募集した情報交換事項と、それらに対する各加盟館の取組をとりまとめた資料を共有し、参考とした。

- ・延滞のペナルティについて
- ・円安による外国語雑誌の価格上昇について
- ・一般利用者の利用目的について
- ・アクティブ・ラーニングスペースの利用制限について
- ・館内の消毒・消毒用品の設置について
- ・現在の開館状況・感染対策について

毎年度、加盟館の持ち回りで開催している研修会（講演会）として、岐阜女子大学図書館の企画により、12月13日に同大学の木幡智子先生による講演会「活動理論の図書館活動への応用」がオンラインで開催された。

講演ではまず、次のような内容で岐阜女子大学図書館の紹介が行われた。

- ・統計的な面から見た図書館について（蔵書回転

率や大学の特色に応じた蔵書構成等）。

- ・豊富な戦後教育関係資料（木田文庫）を所蔵しており、是非活用いただきたいこと。
- ・大学図書館を題材にした卒業研究が行われていること（図書館の利便性を高めるアメニティグッズの設置、バーチャル岐阜女子大学図書館（Web）による館内の紹介、館内へのカプセルトイの設置等）。

続いて、課題を発見し改善する手法としての活動理論を図書館活動に応用する方法について、次のような内容で講演が行われた。

- ・アクセスが容易な学級文庫の存在により生徒が図書館へ来ない学校図書館の事例への活動理論の適用例について。
- ・読書会で生徒へ感想を求めても反応が無く、事前にテキストを読んでこない学校図書館の事例への活動理論の適用例について。
- ・インターネットの発達に伴い来館する研究者が減少した大学図書館で、活動理論によりその課題を改善していく試みについて。

これらについて、専門の視点から詳細な解説があり、参加者は興味深く話に聞き入ると共に、ひとつひとつの図書館活動を可視化し、改善に繋げていくことを考える貴重な機会となった。

次年度は、隔年で実施の、県外図書館の特色ある取組等を参考にさせていただき視察研修会の年となる一方で、現時点では依然として集合形式での開催が容易ではない状況であるが、開催が困難となった場合でも、大学図書館の振興のために加盟各館にとって有意義な取組を引き続き検討し、実施していきたい。

（岐阜県大学図書館協議会事務局）

岐阜県学校図書館協議会活動報告

岐阜県学校図書館協議会では、学校図書館の充実、発展を図るための研究会や研修会、並びに児童生徒の読書の振興を図るためのコンクールを行っている。本年度は、コロナ禍の現状を鑑み、活動の自粛、中止をせざるを得ない状況は続いていたため、計画していた事業や活動を縮小して行うこととした。

☆研究会、研修会

(1) 第1回研究会及び代表者会

県内郡市の理事、代表者が集い、本年度の事業計画、活動の方針についての説明と連絡をする場として位置付けている。コロナ禍のため集合による開催を中止とし、オンライン開催に変更して実施した。また、研修として「岐阜県の学校図書館教育の現状と今後の課題」について、岐阜県教育委員会担当指導主事による講話を実施した。

(2) 夏季ゼミ

例年学校図書館教育に関する今日的課題をもとに講話を行ったり、図書館施設の見学等を行ったりしているが、本年度は中止とした。

(3) 第2回研究会及び代表者会

本年度の事業、活動の報告と来年度の計画等を報告、説明する場として位置付けている。第1回と同じくオンライン開催とした。また、令和5年度に開催予定の第41回東海地区学校図書館研究大会（愛知大会）における実践発表校の決定と指導・助言者、大会役員等の選出を行った。

☆各種コンクール

①第54回図書館だよりコンクール

(高等学校)

②第68回読書感想文コンクール

(小、中、高等学校)

③第34回読書感想画コンクール

(小、中、高等学校)

本年度は、コロナ禍以前の応募数に近い状況まで持ち直し、優れた作品が多く寄せられた。

今後も豊かな情操を養い、教科横断的な指導が期待できる読書感想画コンクールをさらに充実させていきたい。

また、各種コンクールに対する県内地域の取組状況に格差が生じないように、さらに工夫した啓発活動を行う必要がある。

(岐阜県学校図書館協議会事務局)

令和4年度事業報告

●図書館活動研究大会

ユニバーサルデザインと図書館

(11月11日 33人参加)

研修テーマを「ユニバーサルデザインと図書館」とし、講師には、株式会社ユーディットの関根千佳氏を迎えて実施した。

当日の講演では、ユニバーサルデザインの概要の解説や活用事例の紹介を講師の経験を交えながら説明いただいた。

参加者からは「ユニバーサルデザインは建物や物的なことが主だと思っていたが概念が変わった」、「海外の常識や国内で先進的な取り組みをしている図書館を紹介いただき、視野が広がったように感じた」等の声が寄せられ、ユニバーサルデザインについての理解を深めることができた。

受講方法としては、所属する図書館からZoomを使用しオンラインで参加する方法と、会場（岐阜県図書館研修室）で受講する方法を準備した。講師には岐阜県図書館に来館いただいた。

●学校図書館職員対象研修会

探究学習と学校図書館の在り方

(8月10日 51人参加)

青山学院大学准教授の庭井史絵氏にご講義いただいた。受講方法は、所属する図書館から Zoom を使用しオンラインで参加する方法と、会場（岐阜県図書館研修室）で受講する方法を準備し、講師には岐阜県図書館に来館いただいた。

学校での探究学習の事例等について具体的にご紹介いただき、学校図書館の今後の役割を改めて考えることができた。

参加者のアンケートからは、「探究学習のプロセスが具体的で実践に直結するものだった」「調べ学習における図書館の役割をあらためて学ぶことができた」等の声が寄せられた。

●岐阜県図書館・岐阜大学図書館研修会

図書館と災害対応

(9月29日 オンライン 27名参加)

例年、岐阜県図書館、岐阜大学図書館と共催で行っている研修を今年度も共催で行うこととし、一般社団法人減災ラボ代表理事の鈴木光氏に講師を依頼して開催した。

今回の研修会はオンラインで開催し、災害対応の実践例からMY図書館DIGの実践方法まで具体的にご説明いただいた。

参加者のアンケートからは、「地震が起きた際の実際の映像をもとに、ヒトやモノがどう動くかの解説がありわかりやすかった。」「図書館内の危険な箇所や実際の避難経路を考えていきたい」等の声が寄せられた。

●その他

・岐阜県図書館協会 理事会

第1回 6月21日（オンライン開催）

第2回 3月14日（オンライン開催）

・相互協力部会

8月24日（オンライン開催） 情報交換等を実施

・資料発行 「会報」（51号）令和5年3月

(岐阜県図書館協会事務局)

岐阜県図書館協会の解散について

当協会は令和4年度をもって解散することといたしました。よって会報の発行もこちらで最後となります。ご支援、ご尽力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。